



ハンガリーの首都 Budapest から車で約1時間半、東南郊の町 Várpalota の中心にある中世紀の古城に、ユニークなハンガリー化学博物館(写真上)がある。古城の内部空間を改修して化学博物館に利用し、現代と将来の教育文化に役立てるとともに、歴史的古城も保存してゆこうという意図にまず感銘をうける。この地方は亜炭採掘、アルミニウム冶金、窒素工業など現代化学工業の中心でもあり、この博物館の企画も重化学工業の遺産の保存展示のため25年以上も前に発足したようである。

現在はハンガリーでの基礎化学、教育、工業化学の歴史的遺物およびその模型等をはじめ、文献資料を収集・保存・研究・評価・展示を任務として、所員7名ばかりで運営されている。その顧問でもある F. Szabadvary 博士に、私の訪れた1987年秋には実物8000点、歴史的文献資料25000点、写真原版5000点、蔵書30000点をこえる収集がされているとの説明をうけた。そして展示にはハンガリーの有名化学者紹介(姓名は日本と同様に姓を先に書く)とともに、中世から近代・現代に至る数々の興味ある実物や模型が要領よくならべられており、同国の青少年の教育にも役立て

【世界の大学・博物館】

ハンガリーの
 化学博物館
 科学技術資料博物館

阪上正信

られているのが印象に残った。

なお首都 Budapest でぜひ訪れたいものは、Kaposvár 街にある科学技術資料博物館(写真下はその入口パネル)である。その館長が Budapest 工大教授も兼ねる前記 Szabadvary (サバドバリー) 博士で、英・独・露語訳も出版されている名著「分析化学の歴史」(私共の和訳は内田老鶴圃より昨秋出版)の著者でもある。ここにはハンガリーの科学技術全般に関連する多数の資料が実物として保存されており、廊下には専門分野別の基礎的展示ケースも並び、図書も豊富にある。時期に応じて特別展示が行われるほか、国内各所での博覧会などの際に展示利用できるよう歴史的遺産が大切に保管されているのを見ることができる。

(Masanobu SAKANOUÉ・金沢大学名誉教授)



次号掲載予告第37巻第5号

日本の化学の黎明

巻頭言	西欧近代化学の受容.....	大阪大学名誉教授	竹林 松二
特集	宇田川裕菴の実験・観察と『舎密開宗』の実験の再現と現代的翻案.....	元富山大学教育学部	林 良重
	適塾と理化学.....	蛋白質研究奨励会	芝 哲夫
	ハラタマと大阪舎密局.....	元大阪工業試験所	椎原 庸
	舎密局と京都大学—化学史的視点から.....	京都大学教養部	藤田 英夫
	薬の町道修町—その黎明期.....	田辺製薬(株)	足立慶次郎
	日本の化学工業の生い立ち.....	大阪府立大学工学部	去来川寛三
	黎明期の化学用語.....	立教大学理学部	中原 勝儼

化学への招待、講座「新材料」、解説「分析技術」、化学実験虎の巻、便利な実験器具・道具ほか